

# 2019 Japan National Team Report ”コーチ”



報告者氏名	佐藤 麻衣子
大会名	2019年ヨーロッパ選手権大会
開催地	France, Crozon-Morgat
大会期間	6/22 6/29

- 帰国後1ヶ月以内に、JODAチームでまとめた上、海外派遣担当までメールにて送付して下さい
- JODA理事会にて確認の後に、ホームページに公開します
- 記入時の注意点
  1. このレポートは今後海外派遣レースに参加する選手、役員また日本のジュニアのための資料です
  2. なるべく客観的な立場から、詳細に記入して下さい
  3. 大会本部や運営、他国や他国選手また特定の個人を批判するような記述はしないで下さい
- 写真資料について
  1. このレポートを補足する資料として必要です(文中に貼り付けて下さい)
  2. 他国OP艇を接近して撮影する際には、必ず相手国の選手、コーチの了解をとって下さい

チャーター 艇 メーカー	Nautivela	erplast			
--------------------	-----------	---------	--	--	--

気象について	曇りの日が多かった。朝は雨が降ることも多く、とても涼しかった。
海面(湖面)の特徴 や風の傾向	海面は比較的岸に近く、地形による風の変化が多いのではないかと思った。 また潮が強く、コーチボートに寄せているとどんどん流された。
帆走指示書内容で 特記事項	特になし。選手のサインアウト/サインインは、チームリーダーが行った。
コーチボートについて	BELとシェアするという話で現地に行ったが、コーチボートの持ちこみ等の問題があったようで、レース期間はSGPとシェア。特に問題はなかった。

以下、日本チームより上位の選手、国について記入して下さい

選手の特徴、体格	ヨーロッパ選手権なので、若い選手も多く見られた。強風シリーズではなかったので、小柄な選手が多かった。
艀装品について	特に違いはなかったが、選手自身でしっかりと風に合わせてトリムしていたように見えた。
セッティング等	One sail が多かったように思える。
海上での練習方法	コーチボートがない状態でも、選手自身でゲートスタートしたり、左右に分かれてセーリング練習したりしていたように思える。
セーリング技術	船を走らせる技術やタックなど動作は日本人セイラーも同レベルに近いが、スタートの技術や混戦から抜け出す力が少し劣っている気がする。
戦術、戦略など	初めてセーリングする海面で、周りの地形を見てどうい風が吹いてくるかなどを想像する練習をもう少しの方がいいと思う。
日本選手が劣っていること	陸でも海でも集団から抜け出す力。自分の力をしっかりと出せる精神力。
日本選手が勝っていること	整理整頓やまじめさ。チームワーク。
日本チームとしての課題	いろんな場面での“ずぶとさ”とセーリングでの“かしこさ” ルールやクラスルールの再確認（コース短縮なども含む）
JODAへの要望	選手の海外レースへの目標をしっかりとさせること。 合宿等の企画
その他	特になし。

ご協力ありがとうございました  
JODA海外派遣委員会